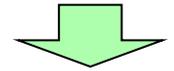


静岡市（清水地区）（北陸圏・中部圏ブロック）

【計画期間 21年3月～26年3月】

江戸時代より水運、海運の拠点。清水港を中心とした関連産業の工業都市として発展。

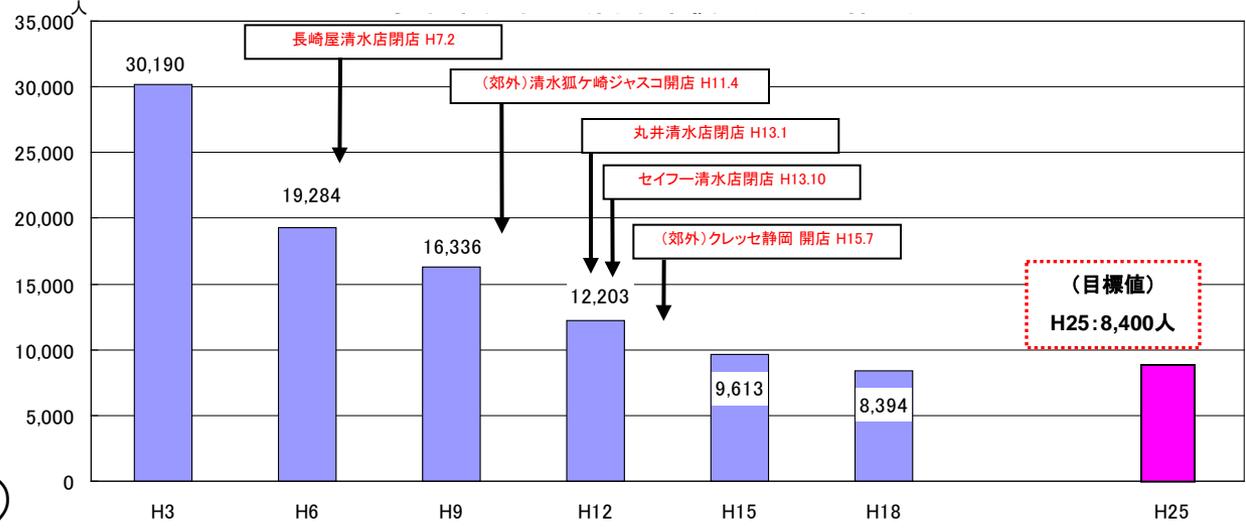
- 特定重要港湾としての産業拠点
- 港文化が漂う観光・レクリエーション拠点としてのにぎわい
- 近年、僅かにまちなか居住の回帰
- サッカー、マグロ、もつカレーなど豊富な地域資源



- 休日の歩行者通行量
H3: 30,190人
→ H18: 8,394人 (▲約72%)
- 年間小売販売額
H9: 496億円
→ H16: 220億円 (▲約56%)
- 商店数
H9: 747店舗
→ H16: 506店舗 (▲約32%)

目標	指標	現況値 (H19)	目標値 (H25)
暮らしたくなる みなとまち	居住人口	6,715人/年	7,484人/年
にぎわいあふれる みなとまち	観光交流客数 (含・施設利用者数)	728万人/年	800万人/年
魅力がつながる みなとまち	休日の 歩行者通行量	8,394人/日	8,400人/日

【歩行者通行量[休日・5地点]の推移と数値目標】



■大型商業施設立地、商店街活性化、機能的な都市空間の創出等により、暮らしたくなるまちを目指す。→主要事業：①駅周辺の再開発(商業・住宅)・区画整理、②空き店舗の活用、など

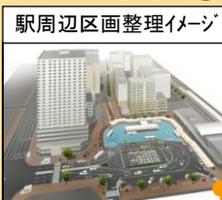
■文化・観光施設の整備、港を活かしたイベント開催等により、にぎわいあふれるまちを目指す。→主要事業：③(仮称)こどもクリエイティブブランド設置、④市文化施設駅前移設、⑤イベント充実、など

■地域資源を活用した機能連携、交通モードの充実により、魅力がつながるまちを目指す。→主要事業：⑥(仮称)ちびまる子ちゃんのまちづくり、⑦移動・回遊性向上、など

静岡市中心市街地活性化基本計画（清水地区）の事業概要

「暮らしたくなるみなとまち」づくり

- JR清水駅周辺再開発事業・区画整理事業(①)
区画整理により**バスターミナル**や**公園**などのインフラを整備。再開発事業により核となる**大型商業施設**、商業施設等と一体となった**分譲住宅(計171戸)**を立地。
- 交通安全施設等整備事業
電線の地中化、歩道・自転車道・駐輪場の整備等。
- コミュニティづくり事業
商店街において、**隣人祭り**、**朝市**、空き店舗を利用した**簡易健康診断・健康相談会**等を実施。
- 空き店舗の活用（商店街空き店舗総合活用支援事業）(②)
商店街の空き店舗で新規事業を実施する際の**改装費、賃借料(最大2年間)**の一部を助成。助成対象を、商店街団体から**個人事業者、NPO**等へも拡大。



「にぎわいあふれるみなとまち」づくり

- (仮称)こどもクリエイティブランド設置(④)
創造活動サポート機能、遊び・交流機能(図書コーナー、遊戯スペース等)、職業体験機能等を備え、青少年の**創作活動支援・人材育成**。
- 市文化施設の駅前移設事業(⑤)
多様な舞台芸術に対応できる多目的施設。周辺の既存文化施設とも、共通チケット等で連携。
- 魚市場交流施設整備事業
魚市場の改築、観光集客施設「**河岸の市**」(年間100万人集客)の施設拡充による機能向上。
- イベント充実(⑥)
マグロまつり(魚市場周辺)、七夕まつり(駅前3商店街)、アートクラフトフェア(駅東多目的広場)等**多様なイベント**開催。

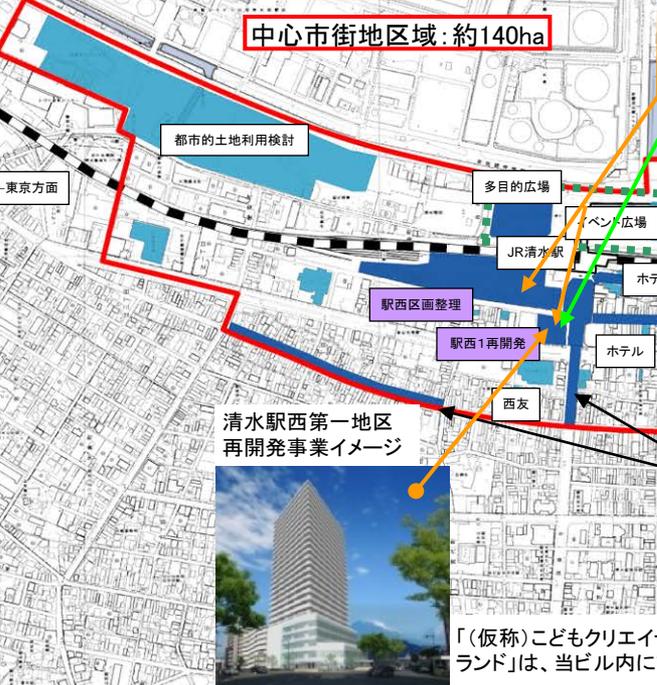


「魅力がつながるみなとまち」づくり

- (仮称)ちびまる子ちゃんのまちづくり(⑦)
ちびまる子ちゃん関連施設を核とし、商店街や文化施設等が、**ガイドマップ、スタンプラリー、キャラクターバス**などで連携。
- 移動・回遊性向上(⑧)
老朽化した駅庁舎を改築し、**情報発信コーナー**を設置。**まちなか巡回バス、自転車道整備、商店街レンタサイクル、ペロタクシー**等、交通手段の多様化も推進。
- まちなかチケットサービス
文化施設や大規模商業施設の**チケット・レシート**等提示で、商店街で様々なサービス提供。



中心市街地: 約140ha



「(仮称)こどもクリエイティブランド」は、当ビル内に設置

まちなか巡回バスイメージ (Image of the local loop bus)

